

夏のボランティア体験2018 プログラムレポート

1	プログラム名	さいたま市よい本を読む運動推進委員会
2	実施社会福祉協議会・団体名	さいたま市社会福祉協議会 浦和区事務所
3	活動年月日	平成30年7月28日、29日
4	活動場所（市名）	浦和ふれあい館（さいたま市）
5	内容	子どもたちへの読み聞かせ（おはなし・絵本・紙芝居）のやり方を勉強し、体験する。
6	活動の様子	



参加者の声

・あまり人前で話すことは好きではないのですが、読み聞かせは自分も楽しく活動することができたのでよかったです。（高校生）

・本の持ち方や本の種類など1つ1つ丁寧に教えていただきとても良い体験でした。本を読む楽しさだけでなく、読んで聞いてもらう楽しさも知ることができたので、読み、聞かせをする場面などが今後ありましたら、今回の体験を少しでも生かせるようにしたいと思います。（中学生）

・ベテランの方たちの本の読み方が上手でした。読む際に言葉に感情を込めたり、体を動かして物語を強調させたりして、いろいろと学ぶことができました。自分もぜひ機会があったら工夫して上手に本を読ませてあげたいと思います。（大学・専門学校生等）

協力団体さんの声

読書離れと言われる中、読む方も聞く方も体験していただくことで、本の楽しさを感じてもらえたのではないのでしょうか。

自己紹介では声の小さい方たちも自信を持って声を出していることをご自分でも実感できたと思います。

社協担当者より

読み初めは皆さん緊張していましたが、読み進むにつれて、本を読む楽しさだけでなく、読んで聞いてもらう楽しさも体験していただけたのではないかと思います。

ぜひみなさんも、読み聞かせの体験をしてみてください。

